

平成 29 年度埼玉県オハイオ州スカラシップ  
語学・大学留学コース 3月レポート  
「文化と言語の発信」

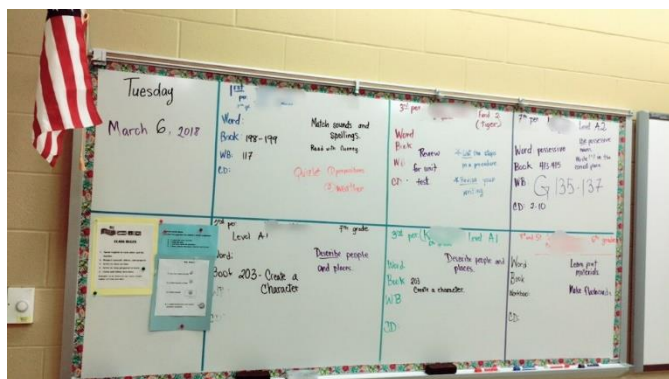
夜の授業が終わっても外が明るく、春になったことを改めて感じます。これが最後から二番目のレポートとなってしまいました。限られた時間の中で何ができるのか、何をしたいのかを考えながら、日々の生活を楽しく、実り多いものにしていきたいと思います。まず始めに、私の“家族”である親友たちと楽しい思い出を作りたいと思います。授業以外の時間の大半、毎週末を彼らと過ごしています。今ここにある日常が日常でなくなってしまうことは寂しいことですが、フィンドレーにいる間は思う存分楽しみたいです。

今回のレポートでは、フィンドレー市内の ESL クラス(英語を母語としない児童・生徒のためのクラス)の様子、小学校への出張授業の様子、インターナショナル・ナイトの様子をお伝えします。

—ESL クラスの様子—

フィンドレー大学では、3月上旬に1週間の休みがありました。この休みは公休日のために設けられている休みではなく、大学独自の休みです。私は、その1週間を利用して中学校(Glenwood Middle School)、高校(Findlay Highschool)の ESL クラスの見学をしてきました。ESL クラスは、英語を母語としない児童・生徒たちのためのクラスです。私は日本で、外国にルーツを持つ子どもたちへの支援、特に公立学校における支援について研究しています。そこで今回、フィンドレー市立の中学校と高校で、外国にルーツを持つ子どもたちに対する支援体制を視察しました。日本では、学校の授業内でこのような日本語を母語としない児童・生徒における支援はあまりみられません。日本では受けるクラスが学級単位で決まっていますが、アメリカでは受ける授業を生徒が選択します。毎時間、担当の先生の教室に移動して授業を受けています。そうした点や ESL 専門の先生がいることもあり、ESL のような授業が実施しやすいのではないかと思います。私の視察した中学校では ESL のクラスが学年とレベルごとに

5 つに分かれており、生徒は通常の授業を受けながら 1 日 1 時間か 2 時間 ESL の授業



を受けます。教科書は 5 つのレベルがあり、定期的に行われる州のテストによって分けられます。1 週間の授業見学の中で、生徒たちや ESL の先生と多くの話をする事ができま

(写真) ESL の部屋の様子 1

した。春休みは終わりましたが、引き続き、午前授業のない木曜日に毎週 ESL クラスを見学する予定です。

私は高校生の時に、アメリカの高校で ESL クラスを受けた経験があります。そこで日本に戻った後、ボランティア等を通して日本にいる、外国にルーツのある子どもたちに目を向け始めました。そして現在は、公教育における外国にルーツを持つ子どもたちの支援のあり方について研究しています。移民を多く受け入れているアメリカでの教育を学びながら、日本では外国にルーツを持つ子どもたちにどのような支援が可能かをさらに研究していきたいと思います。

### —小学校への出張授業—

3 月の中旬から毎週火曜日に小学校に出張授業へ行っています。小学校の昼休みに



合わせ、留学生が言語や文化を教えています。アラビア語、韓国語、スペイン語、日本語のクラスがあります。児童たちはその中から 1 つの言語を選び、その言語の全 6 回の授業の中で海の生き物についての語彙やフレーズを学びます。私は韓国語のクラスを担当して

います。この試みの目的は、新しい言語を習得することではなく、他の言語や文化、他の国から来た人々と触れ合うことだそうです。25分という短い時間の中で、ゲームなどの体を使ったアクティビティーを通して楽しく韓国語に触れられるように工夫をしています。

### —インターナショナル・ナイト—



(写真) 日本ブースの様子①

3月中旬に、インターナショナル・ナイトという留学生が主体となって行う大きなイベントがありました。そのイベントでは、様々な国から来た留学生が自国の文化や食べ物を紹介します。私のいるフィンドレー大学では、現在12人の日本人交換留学生がいます。イベントの約2か月前から彼らとともに、どんな食べ物を提供するのか、どんなゲーム、ステージ発表をするのかを話

し合いました。私は福井県からの奨学生とともに、日本ブースの代表を務めました。

代表者会議に出たり、必要なものの価格調査や購入、予算管理をしたりと大変なこともありました。他の留学生と協力しながら楽しいイベントにすることができました。私たちは、日本食としてうどん、ゲームとして、はしつかみ、輪投げ、ヨーヨーすくい、ステージ発表としてよさこいを準備しました。多くの来場者が日本やほかの国のことを知り、イベントを楽しんでいたように思います。



(写真) 日本ブースの様子②